

令和7年12月定例会

一般質問通告書

令和7年12月9日(火)・10日(水)

通告順	質問議員名	項目
1	高橋 孝雄	3
2	渡邊 計	4
3	花井 茂	2
4	佐藤 八郎	7
5	飯畑 秀夫	4
6	横山 秀人	5

飯 舘 村 議 会

通告順	1	質問議員名	5 番 高 橋 孝 雄
1. 農業を再開された農家の支援について			
①	水田の耕作を再開した農家の用水路が再三の要望にもかかわらず、いまだに整備されていないのはどのような理由か伺います。		
②	震災原発事故から長年が経ち、農地周辺の雑木も伸び放題の状況のため、雑木を伐採しなければ、作物を栽培しても育ちません。農家の要望がある場所は早急に対応をしてもらえないのか伺います。		
③	暗渠排水工事について、除染工事で潰れた所が多々有ります。農家の要望がある箇所については、速やかに工事を進める事が出来ないものか伺います。		
④	イノシシやサル除けの電牧セットが古くなって効き目が無くなりました。新しい物を貸与してもらえないものか伺います。		
2. 県管理河川の土砂撤去について			
①	県管理の河川であっても、震災原発事故前は地域住民が大勢居りましたので、少なくとも年2回以上河川の草刈り作業をしており、水の流れも良くなり、土砂もほとんど溜まりませんでしたが、現在帰村された人が少なくなり、草刈り作業も出来ません。そのため土砂がたくさん溜まり、作付けした水田に泥水が上がりますので、来年作付けした水田にも泥水が上がらないよう、早急に土砂の撤去が出来ないものか伺います。		
3. 国道399号線の早期改良について			
①	国道399号線の中に特にトラブルの多い箇所があります。車同士がすれ違い出来ず、運転手同士ののにらみ合いのトラブルが度々ありますので、早期改良が出来ないものか伺います。		

通告順	2	質問議員名	6 番 渡 邊 計
1. 議案書について			
①	10月3日の臨時会において、議員よりも先に傍聴に来られた一般の方に配付された要因と今後の対策について伺う。		
2. 行政区ヒアリングについて			
①	どのような内容が多かったのか伺う。		
②	それらの意見は来年度予算にどこまで反映されるのか伺う。		
3. 来年度予算について			
①	来年度予算の見込みについて、額と何に重点を置いた予算編成になるのか伺う。		
4. 道の駅（風の子広場他含む）とメモリアルホールいいたてについて			
①	道の駅に特命課長を赴任させたが、その成果について伺う。		
②	改修・改築の予定や計画はあるのか伺う。		

通告順	3	質問議員名	3 番 花 井 茂
1. 本村に於ける農業政策について			
①	「地域農業経営基盤強化促進計画」において、村がもっとも重視している重点課題は何か伺う。		
②	農地集積の現状数値と計画目標に対する進捗状況を伺う。		
③	耕作放棄地対策について再生・集約・用途転換等があるが村が中心的に進める基本方針を伺う。		
④	新規就農者を含む担い手確保のために今後強化していきたい支援策を伺う。		
2. 本村の防災対策の強化について			
①	地域防災計画の見直しについて帰還人口の変動・高齢化・気象災害の激甚化などを踏まえた計画の見直し状況を伺う。		
②	災害時の要配慮者に対する支援体制の整備状況について伺う。		
③	災害情報伝達手段について伝達体制の現状と課題について伺う。		
④	防災アプリ等デジタル防災の導入、ＩＣＴを活用した災害情報配信の可能性と村としての導入方針について伺う。		

通告順	4	質問議員名	8 番 佐 藤 八 郎
1. 15年を迎える原発事故について			
①	国の動き（6月閣議決定）「復興基本方針」は、帰還困難区域への自由な立ち入りを認める一方で、被ばく管理を個人の自己責任とする内容や、除去土壌の全国での再生利用促進、食品摂取基準の見直しなど盛り込まれています。被害を受けた村・村民への影響・課題を伺う。		
②	原発事故を体験した村・村民にとって、国の「第7次エネルギー基本計画」をどう捉え思考されているのか。行政執行側の長の任命・付託からして被災者の立場での所見を伺う。		
2. 来年へ向けての要望について			
①	社会保障・中小企業（商工業）・農業・教育予算などの、国・県への要望を具体的に示して頂きたい。		
②	防災・減災・環境保全における水害対策、道路や河川などの土砂・草刈り・鳥獣被害が村民からの要望となっていることから、村内事業者間の共同受注を推進し、避難解除前6年間の無管理地域の実態から道路や河川などの維持管理が大変なので、国・県へ予算増額を要望すべきである。		
3. 鳥獣対策と森林整備について			
①	捕獲後の処分と対策の為の必要経費の支援と体制を具体化すべきである。		
②	河川・やぶの刈り払い、草刈り、伐木などの除去と耕作放棄地の実態把握としての対策を示して頂きたい。		
4. 原発事故被害者のための復興について			
①	令和7年6月10日に避難12市町村長と議会議長に、「福島原発事故被害から健康と暮らしを守る会」より、提出されている「被害者のための復興・意見要望について」飯舘村長としての所見を伺う。 1. 医療費等減免措置削減・廃止への反対を表明してください。 2. 被爆者援護法に準じた新たな法整備、国による「健康手帳」の交付を求めてください。 3. 統一的基礎資料の改正（I N W O R K Sをはじめ低線量・低線量率被ばくの健康リスクの確認）を求め、福島事故被害者等の健康保障を求めてください。 4. 帰還困難区域の活動自由化へ反対を表明ください。 5. 以上の課題中心に福島での「公聴会」開催を求めてください。		
5. 原発事故を起こした加害者（国・東電）との交渉について			
①	村民のためにある飯舘村行政執行代表者に、この度の東電と村民の和解（令和7年11月23日）への対応と、これまでの東電との協議・経過・内容・成果を含めて伺う。		
②	東電より原告の皆さんへの謝罪としての文書に、「飯舘村と協議しつつ、皆さまのご帰還および福島復興、地域の再生に向けた取り組みを進めて参ります」とあるので、村として村民のためになる協議は何か示して頂きたい。		
6. インフラ整備・環境の安全性について			
①	東北中央自動車道とのアクセス道路への要望活動の経過・内容と見通しを伺う。		
②	再生加速化交付金の見直しについて過去の答弁にあるが、原発事故被害の特殊性や実情を訴え続け支援を要望しての経過・内容・成果を示して頂きたい。		
③	飯舘の自然界のキノコ・山菜への被害が、15年を迎えるのに、14種で平均10,488ベクレル／キログラムで、育成土は平均53,693ベクレル／キログラムが真実・実態であります。この現実と受けた被害の捉え方と加害者への要望について伺う。		
7. 公共施設整備計画と維持管理の財源について			
①	2014年5月28日に公共施設等総合管理計画の策定が、国から示されたことについて、総合管理計画に記載すべき事項とあり、基本的な考え方が示され、行政サービス水準等の検討などあるが、村としての計画・経過・見直しについて伺うとともに、維持管理の財源の実態と見通しを伺う。		

通告順	5	質問議員名	4 番 飯 畑 秀 夫
1. 風力発電事業について			
①	住民説明会や合意形成のプロセスは透明性をもって行われているか伺う。		
②	現在に至るまで住民から寄せられている懸念事項はあったか伺う。		
③	風車設置場所の選定基準（住居距離、環境配慮等）についてどのようなルールがあるのか具体的な内容を伺う。		
④	「いいたて美しい村づくり推進条例」が制定され、審議会が設置されているが、審議会でのどのような意見が出たか伺う。		
2. 物価高騰対策及び支援について			
①	子育て世帯及び高齢者世帯向けの光熱費及び食費などの家計負担を軽減する村独自の支援策はあるか伺う。		
②	エネルギー価格高騰等による中小企業及び農林業を営む村内事業者の負担に対し、村独自の補助制度や融資制度を拡充する考えはあるか伺う。		
③	村が現在行っている物価高騰対策を伺う。		
3. 消防団の現状について			
①	消防団員の確保における現状と対応について伺う。		
4. 飯舘村合併70周年記念事業について			
①	来年飯舘村は合併70周年を迎えますが、記念事業等のイベントを企画しているのか伺う。		

通告順	6	質問議員名	2 番 横 山 秀 人
1. 介護サービス体制の再構築と村内デイサービス、ショートステイの再開について			
①	村外事業所によるデイサービス送迎や訪問介護事業者への支援の評価と、利用者・家族・事業者の声から見えてきた課題を伺う。		
②	議会アンケートで示された、村内デイサービス再開やショートステイを望む声を、家族の負担軽減の視点も含め、今後の介護サービスの検討にどう反映するか伺う。		
③	小規模自治体であり、原発事故に由来する特殊事情も抱える本村の実情を踏まえた介護サービス体制の将来像と、国・東京電力への財政支援要請を含む対応方針を伺う。		
2. 農業基盤整備事業の修繕対応、課題共有の進め方等について			
①	用排水路・暗渠排水・客土など、今回の農業基盤整備箇所の不具合・修繕要望の傾向とそこから見えてくる課題認識を伺う。また、先行整備地区との整備状況の差に関する村民の懸念をどのように認識しているか伺う。		
②	用排水路・暗渠の修繕や暗渠詰まりへの対応について、役場・施工業者・受益者それぞれの役割分担と費用負担の考え方を伺う。		
③	農業基盤整備事業の全体スケジュールと、村民・議会との情報共有や課題共有をどのように進めていくのか伺う。		
3. 村民とともに考える読書推進の継続的な場づくりについて			
①	11月に公募により実施された「飯館村読書推進についての意見交換会」の評価と、今後どのように継続していくのか伺う。		
②	2月に実施された『こども議会』で「多くの人が利用できる図書館をつくるのはどうですか」との提案について、読書推進に関する継続的な議論の中でどのように検討していくのか伺う。		
③	役場ホットコーナー、道の駅、ビレッジハウスなど、村民が訪れる場所への本の配置とあわせて、読書推進を生涯学習の視点だけでなく、飯館村の村づくり施策として、どのように位置づけていくのか伺う。		
4. 未登記村有地の解消と国・他自治体の動向を踏まえた早期対応について			
①	所有者不明土地の解消や相続登記義務化などの国の制度動向を踏まえ、未登記村有地に関する村の財政的リスクや事務負担の増大について、どのような対応が必要と考えているか伺う。		
②	他自治体の未登記道路・未登記公共用地の整理事例を踏まえた、村における具体的な取組の選択肢と検討状況を伺う。		
③	未登記村有地の計画的な解消に向けた、庁内体制の整備と、村民・専門家・議会との協働による進め方について伺う。		
5. 投票率向上と住民参加を広げるための投票のあり方について			
①	村議会議員選挙および村長選挙の投票率の推移を踏まえ、投票率が低下している要因をどう分析しているか伺う。併せて、住民参加の観点も含めた投票率向上に向けた基本的な考え方を伺う。		
②	村外居住者が多い本村の実情を踏まえ、現在行っている投票環境整備の成果と、今後どのような対応策を検討しているか伺う。		
③	投票行動を、村づくりへの村民参加を広げるための一つの手段と位置づけたうえで、村民・選挙管理委員会・行政・議会が一緒になって議論する場を、今後どのように設けていくのか伺う。		